



発行所 青山同窓会  
新潟市関屋下川原町二  
新潟高校内  
印刷所 オリオン印刷機

「あいさつ」

# 母校への愛着

## 青山同窓会会長 鍵富清一郎



同窓会の皆さん、昭和50年度総会おめでとうございます。青山同窓会も年々盛大となり、実際の運営や計画に若い人達がどんどん参加してくれるようになり、まことに喜ばしいことです。

私が慶応大学に入学した時、新潟中学校の同窓生だったことがどんなに強い自信となり、また誇りでもあったかを今にしてしみじみと味わう機会が度々あります。

卒業した母校に対する愛着は学校を出てからすくなくとも15年を経過しないと湧いてこないなどといわれますが、最近若い人達の

熱意も強いものがあがり、会長としてその熱意を身近かに感ずるにつけても、「新潟中学校に学んでよかった」、「新潟高等学校に学んでよかった」、「今新潟高校に学ぶことのおいしさを感ずる」という数々の声が和するよう、青山同窓会発展のため更に努力を続けたいと決意を新たにしている昨今です。

青山同窓生の中には第一線で活躍している著名人も数多くありますが、その多くがある分野で秀でているというだけでなく、人格的にも立派な人物が多いということとは全国的にも定評のあるところ

です。それというの越後人特有の「人の良さ」に加えて、母校の恵まれた環境で学び会った地力をそれぞれ個性豊かに育てているからに他ならないと思うのです。

今後とも年に数回、同窓生が会い集まって更に励まし合う楽しい

「あいさつ」

## 学校長 塩崎巳太郎



青山同窓会々員のみなさまごめい下さい。高柳前校長が輝やかしい業績を残されての勇退のあとこの四月からお世話になっております。殆んどを上越の地だけでござした身には、時折耳にいたしたり、たまの会議に寄せていただき

ます。従って新潟の松林を、白浜を、ぐみ林をしのぶ思いは強くなるといえるや否や、学校の懐い出や友人、先生、先輩、後輩の人物評論や、子供の進歩、就職のことや、孫のことなど話は泉のごとく湧き出て時を知らず、応援歌のどの自慢が続くと思えば、しづく民謡となり、はたまた、西洋音楽はイタリアのナポリのカンツォーネを歌う人ありで、さながら歌謡祭の様でした。終幕は校歌の斉唱と母校の発展と会員の健康を祈って

垣間見た本校の姿は日々の実践への範であり、また憧れでもありませんでしたが、この学校活動に加わらせていただき一学期をすごしました。未熟者ですが、精一杯の努力だけはと念じておりますので、格別のお力添を賜りますようお願い致します。

# 上越青山同窓会開催

## 第五回

春が待たれる三月七日、上越青山同窓会を開催した。上越地区は

種類平野の各界にわたり活躍中の同窓生四十四名中参加者十七名(別掲)が弥生の中旬というにまだ一米余の積雪を誇る雪の名所スキー発祥の地高田の長館館で第五回の同窓会を開催した。上越青山同窓会が会則がない。従って会長を始め役員など決めていない全く任意の会で昔つて新潟中学、高校に学んだ人々の青春の憶出が、一夕の会合に結集させる原動力であり

ます。追伸 上越地方に御活躍中の同窓の皆様、御消息を左記宛お知らせ下さい。次回の総会に御案内状を差し上げます。

943-01 上越市大字寺  
TEL 0255 24-4101

TEL 0255 24-4101

TEL 0255 24-4101

TEL 0255 24-4101

TEL 0255 24-4101

TEL 0255 24-4101

TEL 0255 24-4101

TEL 0255 24-4101

TEL 0255 24-4101

者には、青陵祭をこのように成功させた生徒達の気がいを通じて本校の輝かしい校風、伝統の一端にふれた感動にうたれました。こうした気がい結びつきを生み出す漠然とした価値判断は一層大切に育て、いよいよ培ってゆかなければならないものであるの感じたい。

「水保」の存在を告発し、正義の立役者と注目された人物が、正義を行つたために寄せられた多額の金を横領し、ぬくぬくと贅沢さんまの生活をおくっていたという。公害産業告発の名のもとに世の中を自覚させたと自他共に認める多くの正義の志が果してその後どのような生き方をしているか今回のこの事件がその一つの動向を示しているといつたら過酷であろうか。

### 随想

#### 屋のオンドリ

「起きよ、なまけもの、めざまめよ、のらくらもの、もうたんとねたぞ、横に寝ころがっているのは、たぐさんだ、コケッコ、コケッコ、コケッコ」とオンドリは叫びたてた。そしてオンドリめ、このばかばかしい叫びで声をからし、だれもかれも、おとなも、こどももたき起し、それよりも自分がどんなにばたきものかを示してから、そのあと一日中イラクサの中でぐうぐう眠っていた。

最近の世相をみるにつけ、この種の「オンドリ」の存在が気になるのは私一人であろうか。

本校教諭 上杉雅之(60回)

# 新潟市長に

## 同窓川上喜八郎氏当選

去る四月統一地方選注目の新潟市長の座をめぐる選挙戦で、奇しくも青山同窓生同志が対決するという運命の決戦は、若さと「市民が主人公」をスローガンにした川上喜八郎氏の勝利で幕を閉じた。健斗空しく破れた渡辺浩太郎氏も後輩に席を快よく譲り、新市長の今後の活躍を祈っておられる。長年にわたり北陸の雄都新潟市を今日あらしめた渡辺浩太郎氏の御功績には心からの拍手をお送りしたい。

先輩渡辺氏から市政のバトンを受けた川上喜八郎氏は、若さと温厚な人柄と、なによりも行政面でも実績を買われて市民の期待に答えるとしておられる。幸い青山同窓会は結果も固く、また数多くの同窓生が市民生活の第一線で活躍しておられることもあり、必ずしも空しく破れた渡辺浩太郎氏や新市長川上喜八郎の市政運営にあたり協力を惜しまないことと思う。良い伝統を持ち更に飛躍しようとする新潟市の発展のためにも川上新市長の御活躍をお祈りしたい。

# ごあいさつ

45回 川上喜八郎  
新潟市長



このたび先輩渡辺さんの後を受けて新潟市長の重責になうことになりました。まだ就任して日が浅いので、市政の現状について必

ずしも十分理解したとはいえませんが、すくなくとも問題の所在はわかりました。とくに市民生活サイドからみれば非常に多くの問題があり、このことは選挙にあたって多少勉強して知っていたつもりでしたが、就任してあらためてその広さ、深さを知りました。しかしこれらのことは財政見通しなどの条件のなかで処理しなければなりませんから、ひとつ一つ着実に処理するつもりです。そし

と同時に、市民が主人公、だと言うことが、単なるスローガンでなく、この新潟の町づくりの仕組みの中に、市民の参加を求めている

# 彫刻家(16回卒)

## 羽下修三先生 ご逝去



同窓会の総会が香港で開催されるようになってから毎年欠かさずに出席されて居られた最長老の彫刻家羽下修三先生が五月十七日、八十三才の天寿を完うされてご逝去されました。

今年の総会にはあの懐かしい仙人のようなお顔を拝見出来な

たいと思つていました。聞くところによりますと、私に對する期待が大きいようですが、私はただひたすら市民の方々とともに仕事をすればよろしいと、自分にいい聞かせているところで

(六月二十六日)

# 追悼記

16回 林 茂

羽下氏が数年前秋の叙勲を受けたのを機会に倉嶋氏が主催して市内の古町で夕食会を催したことがある。その時誰いともなく生きていた中では成功者とか名士だとかいわれた人も年がたつと忘れ去られるが、その点になると羽下氏などは数多くの名作を遺すことだから名は永久に伝わるよ、と言ったことがあるが、命短かし芸術長し、全くその通りである。

羽下氏はどういう動機で彫刻家になったのかと問うた人がいた。その時友達の一人在「羽下君は手先が器用であつたよ、二年の一学期の頃と思うが教室でチョークを一本失敬して小刀でチョークの太い方へ猿を彫つて皆を感心させたことがあるが特別な才能があつたのだな」と言つたことがある。

満洲事変が支那との戦争に移る頃羽下氏は美術学校の助教授をやめて五泉へ引越して来られた。新潟大学が出来てからは新大の講師となり、當所通りの倉嶋氏(医師)宅へ立寄りすることも度々で私共と逢う機会も多くなつた。

一昨年春に人から依頼されたこともあり、羽下氏は五泉市二本木の私宅に訪ねたのが最後の別れになった。その折羽下氏は言うていた。田舎の寺から本堂に納められた尊の座像を彫つてくれと頼まれた

が晩年の仕事には重過ぎるから断つていたが住職や檀徒の重立などが再三四断つても頼みに来るので遂情にまけて引受けたが、完成するまでにあと三年はかかる大仕事だ。これを最後の作として仕上げることになると言いつながら氏の作業所に使っている廊下続きの別棟の祠に案内して粘土で一応出来上つた座像を見せてもらった。八十才にもなるが視力も弱くなるし手もふるえて仕事は捗らないよとこぼしていた。その後羽下氏の仕事はどの位進んだか見に行きたいと思つていただけ、俺も最近弱つて出向きも出さずにいる間に突然の訃報に接した。

美しい仏像の彫刻、その他数多くの名作は永久に残り伝わつて彼の芸術は永遠に生きることである。謹んで冥福を祈る。

思い出  
羽下氏が五泉の二本木に居を移してから数年後、庭に魚碑を建てたからと招待状が俺と倉嶋氏の所に来た。(年月は忘れた)世話人は羽下氏の後援者の近藤氏で来会者三、四十人、除幕式にあたり、八幡神社の宮司近藤吉賢氏の祝詞、そののりが振つてゐる。近藤宮司は十六回会員で国学院大学を出た。(現在八十五才で健在)

「鮭産卵のため母川、早出川に帰

り産卵寸前にして漁はれて市場に売られ又塩引にせる。あるに汝等は酒仙羽下修三命の賞味するところとなり暖かき腹中に入る以て冥すべし」とか何とかまじめの顔をして詠み上げていたようであつた。

この日羽下夫人は健康すぐれぬようであつたが一月後に亡くなられたと聞いて過労がたたつたのかと、ほんとにお気毒に思つた。羽下氏がある時話をしたことがある。展覧会の出品が年々大型になるので入選作でも納める所がなく出品者は苦勞していると思う。俺も前以て注文を受けて収入のあつたのは、田中絹代の胸像を彫つた時位のものだ。その時は田中が俺のアトリエに来る頃になると人が門の前に集まつて帰るまで動か

なかつたと述懐していた。

羽下氏の出品作の「おはなばたけ」は新津高校に、「四十二年兵」は新潟高校にある筈だが、軍服姿の少年の像だからドウナツタカナ

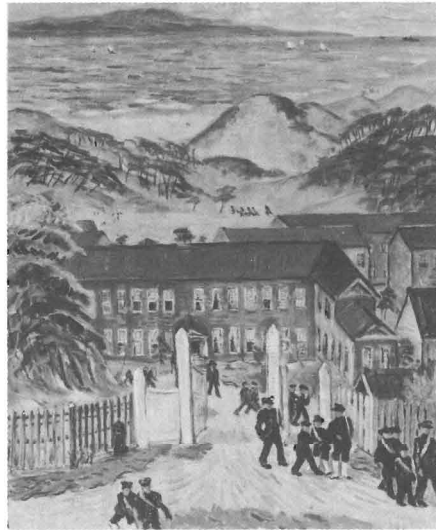
母校長室に羽下修三氏作寄贈として、木彫で眼鏡をかけたおばあさんの胸像があります。



# 卒業半世紀記

## 三二一会(32回)

思えば短く、かつ長い変動期でもあった。同期生の約半数が既にこの世にいない。親しかった友を思うと胸が痛む。最近、卒業五十年記念を考えてくれた吉川君(勤兵衛さん) 具体案の推進力だった味方君(アジ)の逝去に遭い、この期を待たずに去った友が惜し



三二回寄贈画 32回 曾我英彦筆  
画題「遙かなる憶い出の我が母校」補説  
(文責 樋口)

木製の校門と柵(根元が腐っていた?)をその昔の童顔の我々が下校して行く(後には先生の姿)白い布靴(覚えてのローマ字)一中にはしゃれて独逸花文字で記名)を真面目に斜にかけたは下級生、白い布ゲートルをつけたの

もいる。上級生はいばって片肩にひっかけ靴。みんな赤線の入った学帽と制服が誇りだった。後日節約で下駄になったが、これは編上皮靴。校舎はボロで改築(後に焼失)前のためか、窓なんか布があたっていた所もあり、始業のラッ

## 私の中学の思い出

### 32回 小林力三

むとあって、それから満一年、ひょうたんから駒が出て幹事にさせられた身は、これでせめて亡き友達への申訳が立つ。これは、ひとえに会友諸兄の絶大な協力のお蔭と改めてお礼申し上げる。会報に左記の代表の原稿をお願いのところ、多忙の中寄せられたので、半世紀記として載せて戴く。後輩賢弟諸氏も後に続け。(H)

私の中学時代の思い出は楽しいものが多いです。悪童共と精一杯勝手に振舞っている間お互いに心を許すことのできる数々の友を得たことは有難いことです。強いといえば、上級生が偉張りすぎたこと位で、今会うとその上級生も好々爺、又秀才必ずしも期待通りでなかったり、案外の人が意外に伸びたり、世の中というものは面白いものです。例の坂口安吾君も後年のあのバイタリティ等は想像できませんでした。

私共の在学の頃は、世の中は第バが鳴るとそこらからけずり上げるのもいて、新入生はびっくりさせられた。階段も凹んで年歴を示す校舎の裏に寄宿舎が見え、校庭(グラウンド)には山下、堤選手、左の白いは野球部、青春の譜だ。後ろの大砂丘(今の松波町)よいスキー場)は、雲雀・うめぼ・うぐみと楽しみと悪戯を与えてくれたし、佐渡の見える砂浜は足のとびれる程長かった。いかにも安吾碑(護国神社)にもあるようななつかしい憶い出の風景。

## 東京一水会のことども

### 32回 常山四郎

一水会を一流画家の集まりと早合点するなれ。そもそものが銀座七丁目柳通りの同期笠原直三君の店舗を恰好の溜りど利用、それが

移転、困惑はしたが通人連故誰い出すとなく銀座七丁目ライオンビヤホールに同期有志毎月第一水曜日に集ることになった。これが一水会のいわれで、第一回は昭和四十七年六月、味方、笠原直三、沢山(堤)曾我四君と小生五人、清水(真保)七治君は病欠。かくして今日まで満三年、山田輝親君も出席良好、昨年から岩瀬面伯先輩も参加、一層賑やかに毎回夕六時集合、適当に飲みオダをあげて八

大正十三年春、青山中学の最終学年を迎えると共にわが陸上競技部は主将が渡辺熊介君に副が僕にバトンタッチされ輝かしい伝統の重みがズシリと双肩にのしかかった。僕等部員の良き指導者で先輩の山下大蔵さんが校門を去るに当りシンボルマークの赤線の入った愛用の学帽を君に贈るよと渡された時の感激は今でも忘れることはできない。先輩の古びた学帽は後輩にとって或る種の憧れの象徴でもあったからである。

名物の一つとなっていた。僕は快調に飛ばして独走かなと思つてゴール近くにフト振り向くと山下先輩が僕の後方に迫ってくるではないか。一流ランナーの山下さんが近くに見えたが最後速いピッチ走法でやられてしまったことが思い出される。

### 32回 沢山八十松 (旧姓 堤)

時頃散会、全く気楽な天国で次回が恋しい。唯、残念なことは精勤者の味方君が、宿望の新潟錦茶屋会(昨年二月)出席後健康勝れず一年有余の闘病生活も空しく、去る五月二十四日忽然逝去、会員はショックを受けた。

お互いに古稀も近い、余れる人生の一刻を一層自愛の上、この老春の集いに、在京諸兄のご参加の程希つてやまない。

二年、三年の頃であつたであろうか競馬場を体操のシャモ先生の大きく帽子を飛ばす合図で一勢にスタートすると牽駄天の如く飛び出す男がいて競馬場を出ると間もなく彼の姿が煙の如く消えて仕舞うのである。この彼氏こそ僕等と同期の集いにいられた後年の坂口安吾氏で近くにあった屠殺場が雲がく

## 運動選手の回顧

### 32回 沢山八十松 (旧姓 堤)

一年たつのは早いもの。また青山同窓会の総会になった。相変らずの 香澤

いろいろと後輩諸君が考えに考え抜いたがやはり五〇〇人以上の会合となれば此処しかないとのこと、そこで三九回の近況

### 39回 生

対校戦ともなるトランクでは渡辺主将を始め沢川周蔵君小川克男君等のスプリンターがそろつていたし、特に八百米と千六百米リレーでは新潟商業を始め他校を圧していたことを思い出す。同時に先輩の湊元克己さんや山下ご兄弟等の残された輝やかしい戦績と勇姿が僕等後輩に与えた無言の影響力を忘れることができないのである。

四月二十九日 鳥梅にて会合。[宮サマ]こと木村豊雄君が久しぶりの帰省で、これを迎えて集。参加 川竹、阿部尚小、武内、小林清、阿部尚小、小(芳)、桜井、涌井、吉田、金内、野沢(正)、山崎(寿)、福山

飲むほどに、初老の面影は消えて何時のまにか小倉の制服を着ていた少年時代が顔を出してくるやがて宴も終り、東に西に別れゆく我等三九回の前途洋々。

さてそこでソノロ今年計画も立てねばならないのだが、物価高、インフレとお互いに多大忙のこの頃、三九回の皆さん、先ずは御健在に、いずれまた御案内致します。(福山記)

# 授章並びに当選祝賀

## 青山三八回

### 盛会裡に挙行

三八会員(昭和六年卒)に対し五月、次の如き案内状が配布された。若緑めでたき友を祝いたし、秀穂多年新潟商工会議所に尽力された功績により、等々力英男君が春の叙勲に藍授褒章を授与され、又皆川良二君が加茂市長に見事当選されました。誠にめでたい限りであります。遅ればせながら、両君を心からお祝いのため左の通り祝賀会を開催し、青陵健児の意気を高揚したいと思えます。万障繰り合わせのうえ、ご出席下さいますようお待ちいたします。

励のため、加茂市南小学校に同期生十二名が赴き、代表三名が壇上で演説を行った。——それについての感謝の意と加茂市政発展のために尽す決意が述べられ、何れも感動の一コマであった。

次に当番幹事、関秀雄君から、野口敏雄君からよせられた祝電披露並びに田中ホテルから多大なるビールの寄贈を、また、欠席者鈴木宏、五十嵐信一両君からは金一封の寄贈があり、それについて心



あたたまる報告がなされた。引き続き祝宴に入り、特別詠えの料理に舌鼓を打ち、大いに痛飲

# 応援歌のことなど

## 28回海潮音

これにより集まるもの二十九名(欠席通知者十八名)新顔の初参加もあって皆を喜ばせてくれた。当番幹事田巻二郎君の司会により、常任幹事代表渡辺義平君から祝賀の辞が述べられ、引続き、新潟商工会議所会頭、等々力英男君からは春の叙勲に藍授褒章を授与された経過について力強い挨拶があり、また加茂新市長皆川良二君からは去る四月二十三日、応援激

さき頃知人を介して「青山八十」の借覧を求められたので、書棚から出してページをくつてみた。たまたま、創立三十周年の部に「……また音楽の時間もなく、時刻を告げるベルもなかったが、始業五分前に鳴りわたる呪々たるラッパの音は今でも耳に目につかしく残っている……」が目についた。私の在学した当時(大正五年〜十年)の頃のことだ。当時は芸能科ともいへばきものは牧老先生の習字と佐藤先生(愛称スペース)の図画だけだった。音楽は女生生をする

し、歓談に花をさかせ、めでたいなごやかな、一夕を過ぎた。その後、往年の応援団長田巻君及び山口五郎久君の音頭で校歌並びに応援歌の合唱があり、最後に田中松一君の音頭で、両君の健康と将来の発展並びに三八会の隆昌のための方才三唱があり、名残きない祝賀会は幕を閉じた。

なお三八会では七月中旬の青山同窓会の総会出席の呼びかけを目的に七月五日頃に例会を催す予定である旨を周知した。

病魔やし薄暮の宵の賀の卓に  
——秀穂  
生涯にない祝宴よ初夏の宵  
——秀穂

(関 秀雄記)



青山水友会関東地区の集い

健」と共に今も脈々と血の中にたぎっている。丁度四年生の頃に、作られたのが「勇士ら 勇士 勇士、君の勲はその胸にかがやけり——君勝ち われら勝たれり」で従来の軍歌調のものでないので、生にオルガンで弾いてもらって覚えて来て、下級生を校庭の一隅旧寄宿の食堂の前にならべて練習させた。これは他校から転校して来た友人の作詞ときいているが、ビゼーのカルメン行進曲であった。これは当時では他の学校のいかなる応援歌より垢ぬけしていて、医専の学生が得意に歌った第一次世界大戦の行進曲「It's a long way to Tipperary. It's a long way to Go.」と共に異彩をはなしたものであった。思えば「It's a long, long ago.」のことである。

(昭和50・3・10)

- 常連あり、新顔あり、最年長三〇回卒の山添真会長から六八回の奇藤正果氏まで四〇年近い距離あるが、水に対する想出はただ一つ、老いも若きも和気霽々として、談話することなく、普つての想出を語り合ひし一夕の宴は、誠に有意義であった。
- 先ず、その想出のなから抽出して左記に水友会語録を記す。
- 先ず最年長山添先輩の紹介による新潟に於ける「水泳のはじまり」より。
- 新潟日報事業社発行の「古老百話」に楠平湖先生記述の前記「水泳のはじまり」の説明あり、明治三二年以前は新潟には水泳はなかった。新潟での水泳のはじまりはチャップンカイであった。懐しい言葉である。若い人には兎に角、五〇才以上の人は恐らくこの言葉を知っているであろう。そのチャップンカイから、村山正臣先生の古泳法、神伝派自然流が、新潟へ持ち込まれた歴史の説明、次いで同流派の心術極意「流れては亦水
- となる柳かな」「泳がんとする心を打ちちやりて水にまかす身をぞ安すける」の紹介。続いて、堀口忠五氏、佐藤武司氏、永井梓氏、小寺文々語る花の六二回の大活躍強豪佐渡高校の五連覇をばはんでの県大会での優勝、続いて下越水上競技、並びに、北日本水泳大会での優勝、等戦後、第一回の黄金時代を基いた想出。
- 又戦前昭和〇年、一年の東日本水泳大会での二年連続制覇の戦前の黄金時代をきずいた。梅田今井、水野鈴木、高島氏等出席者の活躍の様様。又、ブル建設に対する苦勞談、の数々等。
- 又三三回卒の笠原直三氏語る。否や黄金時代は既に大正時代にもあった。房州館山の高等師範の合宿に参加して、近代クロールを修得、違行した甲斐あって、柏崎海岸に於て行われた県大会には、殆んど全種目に優勝した五〇年前の想出等々、先輩、後輩の交々語る想出に満場拍手を以て懐しむ。
- 出席参加者
- 30回山添 直 55回加藤 喜一
  - 32〇笠原 直三 58〇北井 一郎
  - 36〇宇佐美 博 62〇佐藤 武司
  - 39〇杉崎 善 62〇堀口 忠五
  - 40〇河内 恭三 62〇永井 梓
  - 43〇梅田 悌次 66〇小山 素範
  - 43〇今井 亮 66〇三屋 功二
  - 44〇水野清之助 67〇高橋 三郎
  - 47〇鈴木 亘 68〇齊藤 正果
  - 49〇高島 良郎 68〇岡部 雄士
  - 49〇井上 正
- 以上二名(水野記)

# 卒業二十周年 記念総会始末

## 青山63回

五月十七・十八日  
湯沢 東映ホテル

やはり、「早いもので」という事となるか。いつの間にか二十年過ぎてしまった。つまり、三十八九才となり、それぞれの進んだ道で、今や働き盛り、皆、相当なところへ来ているという訳。昨年あたりから、「来年は大勢集めて、盛大にやろう」「幹事、頼むぞ」とはつばをかけられていたのに、いまだによいよ間際にならないと馬力の上りぬ調子の悪さ。バタバタと終ってしまった感じで、連絡もれも多数あり、不手際の数々誠に申し訳ない次第。

それでも、沢山、齊川、菅原、横山、四先生にご出席いただき、東京からも、大堀、倉品、佐善、白井、菅原、相墨の六君が参加し総員二十九名。トッププロがミッソで御愛敬の記念撮影、三分のほの近況報告、校歌、応援歌の交換といろいろあつたがまずは盛況であつた。

中でも印象的だつたのは、すっかりお元氣になられた沢山先生の御挨拶と今春退官された菅原先生の我々が三学年当時の日記を引用されての回想談。大変感銘深いものがあつた。さてそれからが大変で、きれいだころもそっくり移しての別室での二次会が、延々二時まで。その間、はずみで手を切る



人が出れば、急患で遅れた庭山先生が丁度タイミングよく現れる。そして翌朝、ぜひならぬ急用で、五時起き、六時出発する四人組あり：てんやわらんやで、又もや大変お世話になりましたが、無事結末をつけて下さった倉品氏に厚く御礼申し上げます。さて、色々語り明かし、語り尽した中で次回(二十五周年でしようか)の参考となるかと思える事を記しておきます。

①六十回生の先輩のように、担任だけでなく学年の先生方全てをお招きする。

②湯沢も新潟もそれほど変らないうのなら、新潟でやつた方がもつと集りが多い。

③逆に一度位は東京でやつたら又新しい顔が集まるのでは。

等々。

(地元出席者名) 赤羽、和泉、池、川崎、坂井、齋藤、中村(瑛)長谷川(潔)、本田(良)、真山、水落、吉田(一)、吉田雅、和田、山本(弘)、佐藤(正明)、米本、庭山、小野塚

やることになつてはいたが、人数が不足ということで、現役の生徒を相手の稽古に切りかえる。この例により小田先輩が得意のカメラで練習風景をパチパチ。

午後五時から白山会館で開かれた懇親会には平石会長をはじめ、母校でかつて剣道を指導してくださつた先生方ならびに現在の顧問を含めて二十六名が参加。それぞれエピソード、思い出話等をもりこんだ自己紹介をしい、旧時を語りあつて約三時間を夢の間と過し、懐かしい母校の旧校歌・応援歌を高唱して散会した。

自己紹介の中でもつとも印象的だつたのは、三五期倉田(旧姓鍋谷)先輩だつたろう。

高橋儀三郎先生が長期にわたつて病に倒れるという悪条件下で、三五期の先輩たちが心をあわせて、剣道部創設以来はじめての県下大会優勝を成し遂げた前後の模様を、例の熱弁を奮つて話された。熱気こもつた一語一語に、往年の「新中鍋」の面影を思いしのはせるものがあり、一同感銘を深くした。

## 盛況を極めた 青山剣友会の集い

六月十八日、恒例の「青山剣友会の集い」が開かれた。この度はほとんどが旧年代の先輩であつたところはその特色がある。

この日午後三時、まず母校剣道場に集合した剣友たちは、互いに年をとりあつたことあらためて

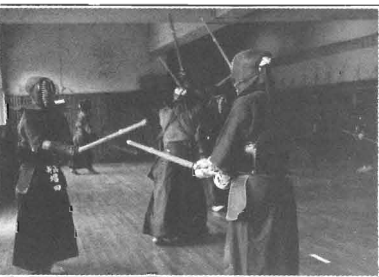
びつくりしあう。さすがに道具を身につける勇気もあらばこそ。それでも五十嵐、小笠原両先生はじめ現顧問の諸先生、久保田、坂井、関崎、佐々木、阿部の諸先輩が元氣に竹刀を持って立たれた。当初の予定では老人紅白試合を

また、小林白山神社富司の、大先輩の思い出話も、これまでもほとんどの人が知らなかつた逸話である。

この度の出席者を見すると、高橋儀三郎先生(きき)と新中剣道部をご指導くださった先生方うちでは、ご出張中の鷲尾先生、松浪先生のほかは現顧問を含めて全員が参加されているし、三五期の先輩のほとんどが出席された。会

また、小林白山神社富司の、大先輩の思い出話も、これまでもほとんどの人が知らなかつた逸話である。

この度の出席者を見すると、高橋儀三郎先生(きき)と新中剣道部をご指導くださった先生方うちでは、ご出張中の鷲尾先生、松浪先生のほかは現顧問を含めて全員が参加されているし、三五期の先輩のほとんどが出席された。会



が盛り上がった最大起因をなすもので、有難いことであつた。それにひきかえ、戦後の先輩が阿部先輩一人というのは心淋しい思いがした。

なお、資料不足の中で、大正から昭和の現在まで五十余年にわたる間の先輩に連絡しようというので、手落ちも多々あつた。案内が来ない」とお叱りのことはをくださった先輩もあつたが、まことに申し訳ない次第である。ただ今か



ら連絡網を整備して、来年度はより実りのある会を持ちたいと念願している。

当日の出席者氏名(ゴジツクは卒業期を示す)

三一 飯村恒一、二木松雄  
三三 平石恒夫  
三四 小田久夫  
三五 倉田貞三、相馬雄三、風間利吉、武田慎三郎、大屋恒夫、渡辺森蔵  
三六 久保田昌次郎  
三八 坂井藤三郎  
四〇 片桐靖門  
四四 仁多見一彦、佐々木観麿  
四五 関崎睦男  
四七 鳥居俊夫  
四八 水戸正郎  
四九 小林寛直  
八〇 阿部義憲

顧問 五十嵐貞司、小笠原茂、齋藤三郎、広沢岩夫、山岸達郎、田辺隆

先などご存知の方は県高事務局 長早見高正・沼垂図書館(蒲原町七二) 鶴巻鉄二に「一報下さい」。

赤松武、市川俊夫、上杉栄一、金沢正、鎌原信夫、木村春作、葛岡成美、窪田秀雄、齋藤誠太郎、佐々木善男、佐野英一、権井一、田辺陽太郎、高井正男、中野敏中村正、中村芳彦、中山弘、中山敏雄、長谷川宗三、浜田敏雄、平方正治、堀松吾、本間徹、前沢一真、村山勝榮、諸橋悦久、山田市男、和田和雄、渡辺隆、遠藤幹男、小柳正哉、大橋道夫、鎌富一郎、岸田元親、坂井光夫、坂部重久、笹川晋之介、島田稲作、本間秀雄、牧野彌、丸山由之、山本正康

総会にそなえ名簿作成中  
「協力をせう」……  
来る十月二十四日(金)午後、白山会館で総会を開催し、また名簿を発行することとなつた。

昭和十四年3月卒業のこの期は、戦争犠牲者も多く、戦後の混乱もあり、消息不明者が相当あり、名簿の空欄を埋めるのに苦労している。

先輩・後輩各位のご協力を願えば幸と存じます。

次の消息不明者の住所又は勤務

山崎徳左衛門  
五月三十日付で富士銀行新潟支店長に就任、来港いたしました。よろしくお願いたします。

46 回 生

67 回 生

今年は「香港」の同窓会が終つてから、そのまま、インデペンデントハウスに場所を変えて同期会をするにいたしました。同期会にだけ出席を希望している者もいるとか、20日の会に間に合はずべく、新潟近辺の同期在住者の名簿を作る予定である。ハガキを48年の住所へ出したら、戻つて来たのが多いので、心あたりの人は中野 仁か石田瑞穂あて申出の事。



伝統を守って

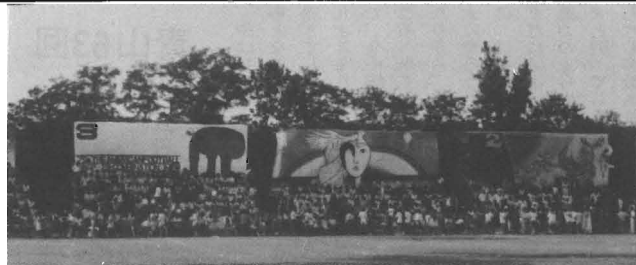
青陵祭盛大に

六月十五日

昭和50年度本校の祭典青陵祭がぬけるような青空の下で盛大に開かれた。

ここ数年続いた五分、十分応援のデモンストレーションは、十分応援一つにばられ、各連合は十分応援に創造性と和とエネルギーを競い合った。

それにつけても、この伝統ある青陵祭がこのように盛大に続けられるのも、同窓諸先輩の各位の心暖まるご支援と、新潟市内各界の御協力があればこそであり、あらためて生徒と共に感謝するものであります。



この大事を立派に成し得る力量があることを証明してみせた本年度の青陵祭といえよう。今後はこの新たな伝統を更に充実した青陵祭にして欲しいとの声が多く聞かれた。

それにつけても、この伝統ある青陵祭がこのように盛大に続けられるのも、同窓諸先輩の各位の心暖まるご支援と、新潟市内各界の御協力があればこそであり、あらためて生徒と共に感謝するものであります。

去る五月二十四日(土)夜、今春母校を退職された菅原欽一先生御夫妻を囲み、三C組が幹事になり、小林庄二郎君の五景屋で楽しい会をやり、先生に感謝の記念品を贈呈しました。

60回生

(出席) 志佐敏、熊谷忍、村山信輔、浜田達三、熊田彰、小林智明、小林庄二郎、市村檀、斎藤卓史、斎藤保夫、山崎達朗(熊田)

今市幸雄君 三井生命新潟支社社長として、昨年暮新潟へ帰って来た。(バツカス)

田辺 寛君 今春南万代小学校より、雪深い中魚沼は仙田の高倉小

学校へ。へき地二級、学級数三児童数二十、職員数四、戸数二十四の藁雪の過疎地とか。然しながらそこには都会では求められないものがいっぱいあるようで、挨拶状を貰って何だか訪ねてみたくなつた。(小秋智)

長谷川昇君の住所を知っている人はいませんか? 以上

人事移動

昭和五十年度

退職

校長 高柳頭之 教諭 志田耕吉

菅原欽一 齊藤三郎 中山太郎

転出

教頭 佐久間清一 豊栄高校 教諭 丸山哲男 県教委指導課

助手 長谷川耀子 黒崎高校 (通信制) 教諭 齊藤真憲 新潟中央高校

村山輝行 巻高校 中村正臣 沼垂高校

渡辺銀次郎 新潟西高校 片山 真 新潟高校(全日)

転入 校長 塩崎巳太郎 高田高校 教頭 齊藤敏夫 新津高校

入田年夫 柏崎高校 塩浦 彰 巻高校

田村栄光 村上高校

片山 真 新潟高校通信 田辺 隆 新発田商工校 小林昭平 新潟南高校 吉副道夫 三条東高校 高松和丸 県教委文化行

最近の大学進学状況

受験戦線史上最もきびしいと云われた昭和50年春の入試も終り、青陵健児の活躍にもみるべきものがあつた。特に東北大には過去三ヶ年を通じ最高の27名が合格

Table with columns for university names and student counts for various years (48, 49, 50).

中央大 44 日本大 29 明治大 45 立教大 35 法政大 27 青山学院大 11 上智大 14 学習院大 11 ICU 2 東京理科大 50 津田塾大 7 同志社大 15 立命館大 12

昭和49年度青山同窓会費納入者追加分 (1月~3月納入のもの)

Large table listing names and amounts of additional contributions for the 49th year of the association.

### 宮尾歯科医院

院長 宮尾 益夫 (38回)

新潟市西堀前通り五番町  
☎025095・0281410

屋外広告・ディスプレイ  
カトウサイン工業株式会社  
加藤行輝(43回) 加藤高弘(58回)

新潟市東堀前9  
☎29-1211

### 大市繊維品株式会社

取締役社長 大塚 進弥 (48回)

〒951 新潟市本町通り5番町256 TEL 28-8060  
新潟市本町5 大市呉服店  
新潟市古町6 婦人用品ダイイチ  
新潟市古町7 ニットファッション・ダイイチ  
新潟駅地階 名店デパート・ダイイチ

ハンコ&印刷

有限会社 山崎製印所

代表取締役 山崎 勝朗(60回)

新潟市並木町1  
☎0252-28-2836

不動産取引業

### 東洋興産株式会社

取引主任 筑波 竜二 (52回)

新潟市西堀通6(千歳パーキングビル)  
☎0252-28-3345

弁護士

小池 健治(60回)

東京都港区西新橋3-3-3  
ペリカンビル8F 長野国助法律事務所  
☎03-434-2772(代)

全国呉服専連会員店

### 染と織赤羽

専務取締役 赤羽 良樹 (63回)

新潟市古町5  
☎28-2200(代)

### 斉川英語教室

{中学生 1~3年}  
{高校生 1~3年}

斉川 正敏 (元 本校教諭)

新潟市関屋昭和町 しょやビル  
☎0252-65-0579

未来を創造する

### 星野電気株式会社

代表取締役 星野 健二 (57回)  
専務取締役 星野 昇 (60回)  
工事部長 星野 隆夫 (62回)  
営業課長 外川 泰雄 (73回)

### 渡辺時計店

渡辺 幸雄 (59回)

新潟市古町通6  
☎0252-22-6810

### 新潟県公認校

大学受験 **新潟ゼミナール**

新潟市信濃町4番27号 〒951  
電話(0252)67-1750(代)

校長 阿部 藤策 (28回卒)

教務部長 沢山 巖 (35回卒)

### 村山内科

村山 実 (67回)

新潟市東大通2-4-10  
日本生命ビル2F  
☎0253-43-0088

### オリオン印刷株式会社

石田 瑞穂 (67回)

石田 武威 (71回)

新潟市白山浦1丁目  
☎0252-66-8118

株式会社 小林力三商店  
取締役会長 小林 力三 (32回)  
取締役社長 小林 亨 (60回)

新潟市下大川前通 2  
☎0252-22-5121(代)

株式会社アートランド  
(グラフィック・デザイン)

代表取締役 金山 常吉 (60回)

〒162 東京都新宿区中町15神楽坂M406  
☎03-269-7014

萬国徽章工業株式会社

代表取締役 小林 智明 (60回)

新潟市東中通 1 番町  
☎0252-28-2271(代)

公認会計士  
中山 諭事務所

(経営コンサルタント)

所長 中山 諭 (60回)

東京都港区 西新橋 2-22サンツー森ビル  
☎03-433-8755(代)

五泉屋旅館

小林 庄一郎 (60回)

新潟市東堀前通 5 番町  
☎0252-28-2930(代)

銘木と新建材の専門商社

阿部木材工業株式会社

常務取締役 阿部 茂雄 (60回)  
新潟支店長

〒951 新潟市礎上一の丁 ☎28-3317

斎藤外科医院

斎藤 卓史 (60回)

新潟市大平 3 丁目  
☎0252-74-7884

海外旅行開発株式会社

(海外旅行のご相談を是非)

代表取締役 高城 英雄 (60回)

〒105 東京都港区新橋 3-16-12  
☎03-433-5544~7

16年の技術と経験の店  
バー バッカス  
田中 亀二 (60回)

新潟市西堀前通 7 番町  
☎0252-23-1564

株式会社ジャパド(広告代理店)  
(JAPAN ADVERTISING AGENCY)

取締役 制作本部長

高山 東雄(60回)

〒104 東京都中央区銀座7-11-10 ニュー銀座第一ビル  
☎03-574-1515(代)

総合包装センターハマキン

株式会社 浜金商店

浜田 達三 (60回)

新潟市笹口中谷内578  
☎0252-41-1101(代)

日本トレードマー株式会社

(木製ドアー及びドアロック輸入業)

代表取締役 水野 哲雄 (60回)

〒104 東京都中央区新川2-32-4 第三田村ビル  
☎03-551-6195(代)

株式会社 北門(繊維卸)

代表取締役 村木 繁夫 (60回)

新潟市月町1988  
☎0252-29-2391

橋本商事株式会社

専務取締役 橋本 行雄 (60回)

〒950 新潟市卸新町1  
☎0252-74-1131